



熊本県 高森町

熊本阿蘇「野の花と風薫る郷」

議会だより

9月定例会

絆



(新企画) 高森を語ろう会	2
9月定例会	4
町政を問う (一般質問)	8
常任委員会報告	11
第3回臨時会	14
町民の声	15



No.90

令和5年11月発行

草部地区の本田さん親子

高森町を 語りつづける会 第1回

開催日 令和5年10月6日(金)
午前11時30分開始

出席者

議会広報特別委員会委員長 後藤 巖
委員 白石 豊和
委員 武田 栄喜
高森町商工会青年部会部長 谷川 大樹
副部長 徳丸 将梧

商工会青年部として 議会に関心がありますか

後藤 本日はお忙しいところお越しいただきありがとうございます。

この懇親会は議会広報の一環で、新しくなった委員と、今まで広報紙になかった取り組みをしようという第1弾で企画しました。様々な団体や個人と意見交換しながら、議会というものをより知っていただく、その会話のなかで私たちも要望を聞いて紹介していきたいと考えています。第1回として

商工会青年部会を選ばせてもらいました。

そこですまずお尋ねですが、商工会青年部として議会に関心はありますか？
谷川 事前に質問を頂いたので商工会青年部の役員会で聞いてみました。このような回答がありました。

● 私個人的な意見になりますが、仕事や建設業の為、工事関係の予算などに関して関心があります。

● 基本なし。ただし自分の身近な分野の議題ならば気になる。

● 関心というより日々の仕事と家庭で一杯一杯。

後藤 この回答について委員の皆さまはどうでしょうか？ 現職の議員は仕事と兼業で活動していますが。

白石 確かに「日々の仕事と家庭で一杯一杯」な面もあるが、大変さよりもやりがいを感じて活動している。

後藤 議員活動しながら自分の仕事をする、その支障について正直に話してもらった方がいいかも知れない。

武田 私が出馬した理由は、今後高森町のビジョンを考えたとき、何をやら手取り早いのか。私たちの次の世代の為だったら何らかの行動を示すことによって、高森町が素晴らしくなるんじゃないかという理想があったから。それをするために何をしたらいいのか。議員になったが良いのではという考えのもとやっている。高森町にはあらゆる

世代の人たちが住んでいる。その人たちの溝を埋めるのが私たちの仕事。

後藤 議員として町の将来のことを考え、提言することで寄与できるんじゃないかという思いと、仕事をしながらでもその思いを持って両立してやっていけると思う。

谷川 議員になって良かったことは何ですか？

白石 行政の中身が深く知れるようになった。可決権など重い責任感がある反面、自分で選択する将来の方向性をつけていけるのは良かったと思う。

武田 違う業種の人との交流ができる。そのついで違う視点を知れる。自分のビジョンに付け加えができる、良くなる方向性を見出せるのは良いことだと思つ。

後藤 それぞれに思いがあつて議員になつている。その思いを一般町民として発すると、議員になつて行政に向かって伝えるのは全然違つと二人は感じていると思う。

徳丸 10年ほど前高森に帰ってきたときは、観光的にもつとこうした方が良い、変えていきたいという気持ちがあつたが、自分で仕事を回すようになってからはできなくなった。

白石 議員がNOKASを始められたとき、その年代の方でもそういう活動に持っていけるのは凄いなと思つた。

後藤 将梧君が商工会青年部会の役を外れたら議員選挙に出たらどうか？役を外れた分を議員活動すればよいかと。



徳丸 意外とそういうことすら分かつていない。日ごろ議員がどういふ風動いているかすら分かつていなかった。

白石 自分もなつてみないと分かつた。

後藤 あとは地域の声を拾つたため個人的に動いている。武田議員はよく環境問題に興味があるから動いている。

徳丸 それは自分で聞きに行くのか、それとも会合などに呼んでもらうのか？

武田 結局自分の足で稼いだ方がいい。情報は自分の足で稼ぐ。自分は限定したくないが、高森町の町会議員なので高森町の困りごとは自分の足で稼いで知る。分野、世代ごとで問題が違う。ではどうするか。当然対話して考え模索する。それをするために足で稼ぐ必要がある。近所の人たちが先になることはあるが、実際は町の議員なのでそ

れただけではダメ。一言声をかけられれば行くのが当たり前。要はフットワークが軽いかどうか。

後藤 町が提案し、議会が妥当かどうか審査し議決する。町の予算が適切に使われているか監視するという役割が一番大事。だが住民からは地域の要望を聞いて欲しいというのが多い。そこは会合等を通じ意見を聞いて一般質問の中で取り入れよう、執行部に掛け合ってみようかという関係を足で稼いで作ったり、会合をもって意見を出し合いしながら進めています。

高森町の持つ長所と短所

後藤 商工会青年部が考える高森町の持つ長所と短所を教えてください。
谷川 長所はスピード感、発信力、巻き込み力、町民同士の距離感が近く仲が良いこと。子育て世代に柔軟な対応を即実行してくれるところ。短所は移住者（高森町で商売したいと思う人が少ない）、政治に関心を持つ若者が少ない。

後藤 なぜ政治に関心を持たないのだろうか。面倒くさいのかな？

白石 先ほど意見で出た自分の生活で精一杯というのもあるだろうが、中身が分からないので取り組めないというのがあるのではないか。

徳丸 学校で勉強したことはただ聞い



て覚えてだけで、いざ目の前になるとフワフワしているんじゃないかなと思います。

後藤 いま議員になっている人はその殻を破ってきたんだと思う。ここにいる3人はやらされて議員になったわけではないということは分かってほしい。自分にビジョンがあって、それをきちんと立場を持って町に伝えたいということがあって議員になったということが殻を破ったということ。主体性を持つことが大事だと思う。

議員（議会）に対してこれから期待することは？

谷川 選挙の時だけでなく普段の生活でも幅広く交流して、色々な意見を吸い上げて欲しいと思います。

徳丸 高森町をもっと飛躍させるために、一人一人の議員さんが町長に負けない政策を考えていって欲しいと思います。今回はこのような機会があっ

良かったです。知らなかった事が少しでも分かったし、直接話をする機会も今までなかったのです。

最後に貴団体のビジョンを教えてください

谷川 商工業の発展を図り、地域の振興・発展、社会一般の福祉の増進を目指し新しいまちづくりに取り組みたいと考えています。

徳丸 役員会でこれぞ高森町と考えるようなイベントを町と協力して行い、多くの人を集め、リピートしてくれる高森町を目指したいという意見がありました。

谷川 最後に要望があります。青年部も部員が少なくなっており、後継者が新規加入するときに補助金を出すことで部員増強を図りたい。例えば菊池市は補助金を出しているようです（例・菊池市中小企業後継者育成対策事業）。
後藤 総務文教常任委員会が議題に出します。まずは各事例など調査をして経過報告をします。また他の部員さんの貴重な意見も参考にして議員活動に励んでいきます。

本日は忙しいなか、時間を作って頂きありがとうございました。

商工会青年部について

昭和54年12月20日設立
現在部員数26名

主な活動

- ・総会
- ・やまめのつかみどり大会
- ・七夕まつり竹切り 清掃作業
- ・夜市
- ・新酒とふるさとの味まつり
- ・風鎮祭実行委員会
- ・若い経営者主張発表大会
- ・リーダー研修会 他



令和5年 第3回9月定例会

同意3件・認定1件・報告1件・議案12件を審議し、
全て原案の通り可決しました。

令和5年度一般会計補正予算(第3号)

7億8,422万5千円を追加

予算総額 74億2,379万8千円

議 決 結 果

議案番号	件 名	議決結果
同意第4号	高森町教育委員会委員の任命について	同 意
同意第5号	高森町農業委員の選任について	同 意
認定第1号	令和4年度高森町各会計歳入歳出決算の認定について	認 定
報告第2号	地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	—
議案第42号	高森町職員の定数条例の一部改正について	原案可決
議案第43号	高森町子ども・子育て会議条例の一部改正について	原案可決
議案第44号	高森町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決
議案第45号	高森町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決
議案第46号	高森町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決
議案第47号	社会福祉法人に対する助成に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第48号	令和5年度高森町一般会計補正予算について	原案可決
議案第49号	令和5年度高森町国民健康保険特別会計補正予算について	原案可決
議案第50号	令和5年度高森町後期高齢者医療特別会計補正予算について	原案可決
議案第51号	令和5年度高森町介護保険特別会計補正予算について	原案可決
議案第52号	令和5年度高森町簡易水道事業特別会計補正予算について	原案可決
議案第53号	令和5年度高森町農業用水供給事業特別会計補正予算について	原案可決
同意第6号	高森町教育長の任命について	同 意

教育支援センター等整備支援事業

教育支援センターの概要

場所：上色見総合センターそば

不登校状態にある児童生徒の社会的自立や学校復帰等を支援し、不登校の未然防止及び解消を図るために、不登校状態にある児童生徒を対象に、適応指導等の相談及び支援を行う施設。

高森町では、平成30年から多機能障がい児通所事業や不登校児支援事業等を展開している民間団体一般社団法人sol（ソル）と連携した教育支援センターを運営している。

事業の目的

- ・不登校状態にある児童生徒の社会的自立や学校復帰等の支援。
- ・不登校の未然防止及び解消を図る。
- ・不登校状態にある児童生徒の支援やその保護者からの相談窓口としての役割を担う。

【対象者】

- ・高森町の小・中・義務教育学校に在籍する児童生徒
- ・子育て等で相談したい保護者

【開設日】

月曜日～金曜日までの午前10時から午後3時まで
(休日・祝日・長期休業日を除く)

今回補正予算の概要

- ・担当スタッフの費用（給与、社保、通勤手当）追加
- ・インターネット環境整備（リモート対応目的）

【補正額】 1,428千円

エンタメ連携まちづくり基金活用事業

096kリンケージプロジェクト

町の更なる活性化と魅力向上に繋げるため、地域おこし活動を行う劇団員を継続的に支援します。

事業の実績

- これまで「高森町×096k絆プロジェクト（第1章～第3章）」として、
- ・096k熊本歌劇団の認知度向上と地域おこし活動の支援を目的とした各種グッズ
- ・PR用の服飾等の制作、高森町のPR車両の導入等を行ってきた。

事業の目的

今回、096k座（大劇会館）のオープン（予定）に伴い、継続的な支援を通して「高森町民と096k熊本歌劇団との交流」、地域活性化の一環として「エンターテインメントを通じた高森町の魅力発信」を県内はもとより全国にPRするため、以下の事業を実施する。

事業概要

①リンケージto「学」プロジェクト：480万円

⇒「ふるさと学」の一環として、町内各学校等で特別演劇披露（演劇・太鼓等）を実施。

②096k座（大劇会館）PR広告支援：150万円

⇒町のPRと今後の更なる連携に繋げるため、096k座での公演に併せたPR広告を実施。

事業費	基金活用額	一般財源
630万円	630万円	0円

令和5年 第3回9月定例会

人事案件

同意第4号



**高森町教育委員会委員に
工藤 寿恵氏が再任されました。**

(任期：令和5年10月1日～令和9年9月30日)

同意第5号



**高森町農業委員に
安藤 吉孝氏が選任されました。**

(任期：令和5年10月1日～令和7年3月31日)

同意第6号



**高森町教育長に
古庄 泰則氏が選任されました。**

(任期：令和5年10月1日～令和7年12月12日)

教育長退任のごあいさつ

佐藤 増夫



新教育プランを掲げ、町あげでの教育改革に取り組めたことは、私の人生の大きな喜びであり、私の誇りであります。

特に、令和3年5月12日、「天皇・皇后両陛下のオンライン行幸啓」で、高森の教育について報告し、両陛下からのねぎらいの言葉をいただいたことは、私の一生の思い出、宝でもあります。

また、議会との連携と理解があったからこそ、私が掲げた「教育は人なり」「確かな教育ビジョン」「ビジョンの共有」この3点を邁進できたものと思っています。

この度、健康上の理由で教育長を辞することになり、皆様方のご期待に任期最後までお応えすることが出来ないこととなり、心よりお詫び申し上げます。

現在、高森町新教育プランも、第4次プランを策定し、新たな取り組みを開始しています。そのような中、後任教育長に高森町新教育プランの第1次から共に取り組んでいただいている古庄泰則先生が就任されたことは、心強く、これからの更なる歩みを確認しています。

最後になりましたが、町あげでの高森の教育の勢い、流れが更に加速し、高森の教育が益々充実発展しますことをご祈念申し上げます。

令和4年度高森町各会計歳入歳出決算認定

(単位：千円)

会計	予算現額	決算額		差引残高	執行率	
		収入済額	支出済額		収入	支出
普通*	10,820,599	10,454,745	10,047,524	407,221	96.6%	92.9%
国保	945,078	947,902	939,882	8,020	100.3%	99.9%
後期高齢者	124,604	124,238	118,860	5,378	99.7%	97.2%
介護	1,117,442	1,114,216	1,021,440	92,776	99.7%	99.8%
簡水	182,762	180,835	174,634	6,201	98.9%	99.3%
合計	13,190,485	12,821,936	12,302,340	519,596	97.2%	93.3%

※普通会計とは…一般会計・農業用水供給事業特別会計・鉄道経営対策事業基金特別会計を含んでいます。



監査委員の決算審査意見

高森町は、ウィズコロナ・アフターコロナ対策とともに、南阿蘇鉄道の全線開通やJR肥後大津駅までの乗り入れ開始、高森駅周辺再開発等の創造的復興、また高森高校マンガ学科開設関連事業等、これからの新生高森町に向けての足掛かりとなるような重要な各事業の第一歩が確実に踏み出せたものと大変喜ばしく、また誇らしく思う。

これらの充実した事業展開により、歳入歳出共に町政史上初めて100億円を超える予算規模となったが、財政運営の総合的な分析と検証の結果、各係数は前年度からさらに改善されており、特に※経常収支比率は令和3年度の全国の市町村平均が88.0%であるのに対し、本町では令和4年度の数値が75.2%と、昨年度の77.5%からさらに改善されており、執行者が

真剣に取り組み努力されてきた結果であると大いに評価すべきである。

今後も、財政運営の改善に一層努力され、効率の執行と健全な財政の確保に努めながら、中長期的な展望と将来への明確なビジョンのもと、事業完了後の新たな展開と拡大を図り、最大の付加価値を生みながらさらなる住民サービスの向上に寄与されることを強く望む。

※経常収支比率

人件費などの経済的な支出が予算に対してどのくらいの割合なのかを示す数値。この数値が低いほど自治体は財政に余力があると評価される。

一般質問

南阿蘇鉄道全線開通で起きた変化

インバウンド対応、2次交通の充実、産業振興は



後藤 巖 議員

5人の熱弁

白石 豊和 議員

町長 補助事業を通じ民間の収益アップを図る

質問 インバウンド対策として取り組んだ事業、地域おこし協力隊の活用はどのようになっているのか。

策推長 町内事業者向けに高森町外国人観光客受入基盤整備事業補助金を実施中。11事業所で13台のポケットの導入実績がある。観光案内所の機能もある高森観光推進機構内に外国語対応職員を置いている。

質問 徒歩移動や自転車を利用した町内中心部散策についてどのような推進をしているのか。

策推長 中心部散策については、高森町観光推進機構で散策マップを作成している。移動手段としては既存のレンタルサイクルの他に、電動キックボードのレンタルを開始したところである。

質問 全天候対応で広域移動される方々へ

の対応はどうか。

策推長 これから2次、3次交通の充実は喫緊の課題だと考えている。

これから高森観光推進機構にて町内事業所と連携したレンタカー事業に取り組む予定である。

質問 南阿蘇鉄道全線開通の流れを産業振興に繋げるためにどのように考えているか。

町長 行政として最大限のことはやっている。その為、補助金などバックアップを惜しむつもりはない。行政だけでなく民間の対応も重要となる。民間として収益をアップして頂きたい。観光消費額については大型宿泊施設が少ない高森町として、どう伸ばすか方を検討している。

このように、民間として収益をアップして頂きたい。観光消費額については大型宿泊施設が少ない高森町として、どう伸ばすか方を検討している。

人口減少社会における各種方策

高森町の現状と今後について



町長 しっかりとした計画を立て、町独自の事業も考えていく

質問 高森町における新規就農者の現状と農業師匠制度をどのように活用しているか。

策推長 本町の新規就農者数は平成29年から現在まで施設園芸4名、花卉2名、畜産3名。また、農業師匠制度は令和4年度中に阿蘇郡市内で研修数は12名で高森町においてはいなかった。この現状を踏まえ、町として新年度に向けて町内にいる農業師匠の下で2泊3日程度の短期型農業研修にかかる交通費、宿泊費の助成等を考えている。

質問 農村の集落機能維持について。

町長 本町の基幹産業として農林業が中心であるが後継者が少ないのが現状。これを踏まえて短期・中期での計画を立て、組織づくりや町独自の交付金制度などを考えていく。

質問 空き家数と空き家バンクの登録数、利用登録数の現状と今後の対策について。

策推長 本町の空き家バンク制度の登録物件数は32件、成約数は22件。また、空き家物件数は令和3年より地域おこし協力隊を採用し、駐在嘱託員の協力で敷地外からの外見調査で248件となつている。年度内に「空き家対策協議会」を検討する。

質問 空き家対策に伴う移住定住施策について。

町長 高森町の空き家対策の計画をつくり、空き家対策特別措置法を活用する。そして令和5年度で町独自の子育て政策をしっかりと、移住者の方々から選ばれる町づくりを令和6年以降からは行う必要がある。

町政を問う



過疎化が進む地域や町営住宅のコミュニティ維持について

コミュニティの維持と駐在区等の再編について

町長 対策の取りまとめと早急な予算化を目指す

質問 過疎化が著しい草部・野尻地区の産業・福祉対策は。

総務課 本町の高齢化率は40%を超えている

が、中でも草部・野尻地区は58・5%とかなり高くなっている。今年度は、地域の課題検討委員会を設置して、産業の活性化策や福祉対策をまとめ、来年度の当初予算に反映させたい。

町長 私の4期目のマニフェストに載せて

いるように検討委員会を設置したい。委員会は、役場全課局が参加して、地域住民のみなさんの意見を反映するような施策に繋げていく。

質問 老朽化に伴い入居者が少ない町営住宅への対策は。

建設課 空家が多い団地では、町が雑草刈り

や定期的な見守りを行い景観や防犯上気を配って

いる。中でも中川原団地は、44戸の内25戸が空家となっているが、町営住宅長寿命化計画によ

り、建替事業の対象であり、現入居者の移転及び

集約化を進めている。当団地は好位置にあることから、民間の手法等を活用し、他のモデルになるように整備したい。

町長 引越し費用などでも集約化を図るべき時期に来ている。

質問 過疎化に伴う駐在区や消防団の再編

は。

総務課 以前駐在区の統合を模索したが、現

在はますます過疎化や高齢化が進んでいる。駐在区や消防団の再編などは、地元の意向を尊重した上で、協議を進めて実施する。

佐藤 武文 議員

5人の熱弁

児玉 幸之助 議員



草部・野尻地区の活性化対策について

高森東学園義務教育学校の重要性

町長 地域と共にある高森東学園の位置付け

質問 将来の草部・野尻地域を担う人材を育成する拠点として、高森東学園の重要性が高

まっていると考える。高森中央小・高森中学校区の生徒や保護者が希望する場合、高森東へ進学することができないか。

教育長 児童・生徒の就学

は、教育委員会が就学予定者に対し学校の指定を行い、保護者は指定された学校へ就学させる義務があると法律で規定されている。高森町では、「高森町児童生徒等の就学に関する規則」に通学区域を定め、居住する住所に基づいて学校の指定を行っている。高森中央小又は高森中学校の児童・生徒が東学園を希望する場合は、その理由等を鑑み、教育委員会で判断する。高森東学園校区と高森中央小学校又は、高森中学校校区との地理

的狀況から、安全な通学の手段の確立や災害発生時などの緊急時送迎等多くの課題があり、学校の変更は難しい。

質問 高森東学園義務教育学校が地域にあり続けるためには。

町長 地域とともにある高森東学園という

位置付けのもと、今後の高森東学園の充実も高森町新教育プランのもと、継続するということが大前提。地域とともにというところが、東学園は非常に大事。実現したときにはじめて、高森東学園は「地域とともにある学校」という位置付けが、次の世代にもつながっていく。この先の高森町新教育プランにも、地域とともにある高森東学園という文言が継続される。

一般質問

防災対策について

インフラの防災整備は



武田 栄喜 議員

5人の熱弁

町長 国土強靱化計画のもと、進めていく

質問 高森町地域防災計画の現状は。

総務課 地域防災計画には、災害予防計画、災害応急対策計画、災害復旧復興計画等あり、年に一度防災会議を開催している。本年は、6月15日に開催。国県の防災基本計画修正に基づき、見直した。

質問 具体的な改正点は。

総務課 盛り土災害防止、消防団等が参画した防災教育推進など改正された。

質問 土壌水分情報、雨量情報等のデジタルデータを有効利用した、早期避難につながるシステム構築を提言する。

避難所及び、公共施設インフラ等の耐震化進捗状況は。

総務課 指定避難所全て耐震基準をクリアしている。

建設課 水道施設等、更新時期に差し掛かっている。更新の時期に伴い検討する。

質問 避難所運営、今後の課題は。

福祉課 プライバシーや人権を守る避難所運営が課題。平時から多様性を考慮した防災訓練、物資調達などをすすめている。

質問 大規模災害時ににおける他市町村との連携は。

総務課 災害時相互応援協定を阿蘇管内市町村、県下各市町村と締結している。また、県外の高千穂町、五ヶ瀬町、竹田市とも応援体制協定を構築している。

質問 今後のインフラ整備は。

町長 財政に左右される大きな事業である。国土強靱化計画のもと、議論をかさね進めていく。

水資源対策特別委員長報告

水資源対策特別委員長 本田生一

令和元年12月の水資源対策特別委員会立ち上げから継続して検討してきた経緯の報告を受け、今後の水道事業の運営については、基金や預金利率の低下、今後予想される人口減少に伴う料金収入の減少、一方では電気代などの高騰や施設の老朽化に伴う修繕工事などで予算の支出が増加傾向にあり、施設維持の確保が年々厳しくなってきたこと、水道料金の引上げや水枯渴補償問題の解決に向けた提言や提案など、議会と執行部が連携し一体となつて速やかに取り組んでいきたい。



リニューアルした湧水トンネル公園

総務文教常任委員会報告

☆閉会中の継続調査

9月4日、常任委員会を開催し、所管各課と質疑応答を行った。主なものとして、9月定例会の上程の議案内容の説明、実施事業の経過報告、町民体育館の現状視察を行った。

TPC事務局より風鎮祭の生中継が出来なかった原因は、中継器員の老朽化により部品調達ができず、やむをえず配信中止をしたと報告を受けた。この件については、風鎮祭だけでなく運動会などでも配信機会があり、機材更新の準備を進めるように意見が出された。

令和5年第4次改訂された高森町新教育プランでは「たかもり型・義務教育」の推進に、「ICT・教育DX・実践的英語力の強化・子育て支援の充実を重点項目に挙げている」と説明を受けた。

本町が選ばれる町になるため、教育環境、子育て支援の充実が欠かせないものであり、教

育現場と現状を共有しつつ進めて行くべきと意見が出された。

町民体育館では教育委員会・管理人に説明を受けた。雨漏りによる天井欠落、漏電発生による体育館内の通電一部停止、雨水滞留によるカビ等の発生が見受けられた。安全確保が担保できない点、健康被害も憂慮する状況であることを確認した。

テニスなどスポーツ、運動会等イベントの他施設への代替開催調査を指摘した。

☆会期中の委員会審議 (主なものを掲載)

9月19日、委員会に付託された「令和4年度高森町各会計歳入歳出決算の認定」「高森町職員の数条例の一部改正」「令和5年度高森町一般会計補正予算」以上認定1件、議案2件について担当者より説明を受け審議した結果、認定及び議案を可とした。

【主な質疑事項】

◎令和4年度高森町各会計歳入歳出決算の認定

安易な予算流用はせず、予算に対し意識を持った行動をしていくことを念頭に認定すべきものと決定した。

◎高森町職員の定数条例の一部改正

現在の70名を90名へ変更する改正。目的として働き方改革への対応、女性職員の増加による産前産後休暇や育児休暇取得がしやすい環境を整える、いびつな年齢構成の回避と説明を受けた。

今後、公務員の定年延長による職員の増加が見込まれると共に、新規採用に現在の定数では上限をむかえることより改正の必要性や、定数増加による安易な採用はしないようにと意見が出され可とした。

◎令和5年度高森町一般会計補正予算

質 地域振興計画策定はどのように進めていくのか。

答 大字高森地内の地区を選定する予定である。地区の基礎調査、将来予想、要望等を網羅した計画となる予定。策定は業者へ委託する。

委員より、社会福祉協議会との関連事業とのすり合わせ、駐在員や地域振興支援員とも協議をすすめ策定するように意見が出された。

質 町民体育館代替施設補助金が計上されているが事業内容を伺う。

答 使用不可にしているテニスコートの代替地として休暇村南阿蘇のテニスコートを整備する事業である。昼夜使用可能にすること、年内には供給を開始したい。

現状の使用料と差がないように調整を望む意見が出された。

産業厚生常任委員会報告

☆閉会中の継続調査

7月19日 色見保育園現場確認
7月21日 優良子牛保留奨励品
評文

7月28日 認定農業者の会総会
8月23日～24日 産業厚生常任
委員会行政視察研修

9月8日 阿蘇高森オーガニッ
クアグリセンター運営委員会

☆会期中の委員会審議

(主なものを掲載)

委員会に付託された「令和4
年度高森町各会計歳入歳出決算
の認定について」「令和5年度
高森町一般会計補正予算につい
て」「令和5年度各特別会計補正
予算4件について、担当課より
詳細な説明を受け審議した結
果、すべての議案を可決した。

【主な質疑事項】

◎令和4年度高森町各会計歳入
歳出決算の認定について

予算流用や予備費充当が多く
みられ、緊急でやむを得ないと

判断するが、このような予算の
流用や充当が行われると、議員
が知らないうちに事業が進めら
れることとなる。臨時議会も開
催されている中、十分な説明の
上での補正対応を望むとの意見
が出された。

また、アグリセンターの
決算において、令和4年度
農業機械使用料未済額が
1,191,685円あるが、ど
のようなことから未済額となっ
たのかとの意見が出され、担当
課からの回答は、実際には未済
額は発生しておらず、年度末に
減額すべきだった調定額がその
ままになっていたことから未済
額が生じたものと回答があっ
た。

委員会としては、このような
事態が二度と発生しないこと
と、町全体の予算に影響がない
か調査確認を行った結果、予算
上は問題はなく、今後の改善策
を取りまとめ、役場全体で共有
していくとの回答を受けた。

住宅使用料について、過年度

分の滞納額と令和4年度分の未
済額を合わせると、住宅使用料
全体の1割を超える滞納額と
なっている。町では老朽化した
住宅の建て替え問題や集約問題
も出ている中、滞納問題につい
ても十分な検討が必要との意見
が出された。

◎令和5年度高森町一般会計補
正予算について

住民福祉課関係で産後ケア事
業について説明を受け、委員か
らは、助産所又は産科医療機関
等に委託される場合、委託先の
差額は生じることはないのかの
質問に対し、委託時同一価格で
委託をお願いしているとの回答
だった。

農林政策課関係では、定例会
提案説明時議員から質問のあっ
た、アグリセンター4トンロン
グユニック車のリース料につい
ては、来年度国の補助を受け購
入を計画している。このため必
要な時期のリース料との説明を
受けた。



アグリセンター4トンロングユニック車

◎令和5年度高森町国民健康保
険特別会計補正予算について
◎令和5年度高森町後期高齢者
医療特別会計補正予算について
◎令和5年度高森町介護保険特
別会計補正予算について
◎令和5年度高森町簡易水道事
業特別会計補正予算について
は、前年度の事業に伴う繰越金
や繰入金・繰り出し金等の補正
予算であるとの説明を受けた。

産業厚生常任委員会行政視察研修報告

8月23日・24日、福岡県大川市、佐賀県佐賀市で委員会の行政視察研修。

【1日目】

福岡県大川市「子育て支援総合施設モッカランド」

☆行政視察の目的

本町の子育て支援センターは、車通りが多く道路に面した一角の、旧信用組合跡地を利用している。施設内は銀行的機能から殆どが壁で、窓等がなく閉鎖的環境にある。更にセンター外には園庭や遊び場の施設もなく子育て支援センターからは程遠い施設となっている。このため先進的な施設である、福岡県大川市の「子育て支援総合施設モッカランド」を行政視察する。

☆「モッカランド」の主な機能と事業

大川市の「子育て支援総合施設モッカランド」は、妊娠期から子育て期までの子どもと家庭を支援するとともに、イベントなどをおして学習や交流の場を提供し、地域における子育て支援の拠点として設置された。以前は大川市内に別々にあった施設が老朽化していることから、一つにまとめ、子育て世代包括支援センター、子ども家庭総合支援拠点、児童の発達支援、地域子育て支援拠点の機能を有し、それぞれが連携し、様々な子どもと家庭を支援している施設。近隣には、大川中央公園や市立図書館、文化センター、保健センター等があり、「モッカランド」利用者の4割は近隣市町村からである。特に、児童の発達支援問題は多くの市町村の課題であり、今後の高森町においても参考となった。

委員会としては、今回の研修をまとめ、本町の子育て支援センターのあり方について提言を行っていく。

【2日目】

佐賀県佐賀市「バイオマス産業都市・佐賀市が目指す持続可能な脱炭素・資源循環のまちづくり施設」

☆行政視察の目的

ごみ処理施設は各市町村や広域に存在するが、そのごみ処理施設から出る焼却熱や焼却ガスを活用し発電や温水プール、植物工場の熱源。そして焼却ガスから二酸化炭素を分離回収し、農業などの産業に活用しているとのことで、本町の農業に寄与できないものかとの思いから研修を行った。

☆取り組みの概要

バイオマス産業都市へのターニングポイントは、平成の大合併（2014年）で、施設統合を行うとき「迷惑施設」と思われがちな施設を、周辺地域に産業や雇用を呼び込む「価値をもたらす施設」へと転換させることを目指し誕生した。これまで「廃棄物であったものが、エネルギーや資源として価値を生み出しながら循環するまち」。その一つとして、ごみ焼却時に排出されるガスから二酸化炭素を回収し、農業や産業に利用する。

ただ、二酸化炭素利用については、二酸化炭素を供給するための配管が必要で、現在のところは施設近隣だけの利用となっている。主産業が農業である本町においては大いなる期待を持っていたが、現実には難しいと思われる。

最後に、今回の行政視察研修を通じ、委員会と担当課が、今後の事業につき共有が図られたことが成果だと思う。

令和5年 第3回臨時会

工事請負契約の締結に関する議案1件を審議し、
原案のとおり可決しました。

工事名：南阿蘇鉄道高森駅周辺整備 第2期工事（B工区）

《これまでの経緯》

- (1) 令和5年5月指名競争入札、指名業者から辞退届提出及び予定価格超過のため不落
※主な要因
①社会的経済情勢（ウクライナ等）、原油高騰により全体的に物価上昇
②技術者不足及び労務単価上昇（TSMC進出による影響も一因）
⇒約1.2倍程度の価格上昇
- (2) 設計単価の見直し、使用資材や仕様の変更等大幅なコストカット実施。
※令和5年度整備予定事業を見直し。
- (3) 令和5年7月3日再入札により落札者決定、仮契約締結。
- (4) 令和5年7月12日原案可決。



議決結果

議案番号	件名	議決結果
議案第41号	工事請負契約の締結について	原案可決

町民の 声

VOICE. 1



今村 英喜さん
(中・祭場)

私有家業である畜産業を親から引き継いだのはここ1、2年の話で、それまではJAに25年間勤務していた。元々家業を継ぐ流れはなんとなくできていたが、まさかこれほど長くなるとは思ってもみなかった。

この25年間で得た最も大きな得は人脈である。元々そんなに人付き合いが上手い方ではなく、一人行動が好きな性格なので、卒業早々に就農していたら何かと苦労していただろう。例えば、牛の飼養管理についても多くの農家と顔見知りであることで、いろんな情報や技術を容易に知ることができる。また困難な状況に陥ってもそれを心配してくれる人達がいる。正に絆。

これで終わってもいい感じになってしまったが、もう一言。

家業を継いだのに合わせて地域の役をする機会が増えてきた。勿論覚悟はしていたし、やるべきことはやって行くつもりでいるが、人が減ったことを理由に何かにつけて、若い人が！というのがどうも腑に落ちない。特に過疎化が進んでいる地域こそ高齢者と後継者の中間層が居ないことで、地域のことを何も知らずにいきなり役を引き受ける事となり苦労する場面が多い。

好きな事に没頭する情熱は誰しも持っているはずだから、その情熱で地域や町の為にもうひと踏ん張り！その情熱が後世へと引き継がれるものだと思います。

VOICE. 2



城井 若生さん
(野尻・倉地)

私たちの地区もほかの地区同様高齢者の多い地域です。こんな地域に73年間も生きてきた自分が、地域のために何かできたのかと考えると、何一つ思い当たりませんが、地域の衰退を目の当たりにして「何とかならないのか、なすすべはないのか、何か少しでもお手伝いはできないものか。」という事を、ずっと考えています。私たちは、村祭りの賑わいや地域の人々の強い助け合いの精神などを知っています。だからこそ、地域の誰もが一堂に会して楽しく過ごせる場所や時間を作れないものかという思いを先輩や友人と共有し、いろいろなことを試みてみました。なかなか賛同を得られずに心が折れそうな時もありましたが、地域への強い思いと、その思いを理解してもらうことで、やり遂げることができた部分もありました。

今は散歩時の休息の場、親水公園が気持ちよく使えるように7~8名のグループで整備したり、蛍が飛び交う情景を想像し幼虫の放流を行ったり、皆さんが出会い、歓談できる集いの場の一員に加えてもらい微力ながら活動しています。このような高齢化の時代です。現実を受け入れながら住民一丸となり全ての人が一日も長く「楽しく、健やかに」暮らせる社会の構築が重要だと強く感じています。

議会の動き

(令和5年6月定例会後
～9月定例会まで)

	期日	内容	場所		期日	内容	場所	
6月	23日(金)	高森町人権同和教育推進協議会	高森町	8月	22日(火)	町村正副議長研修会	熊本市	
	15日(土)	南阿蘇鉄道全線開通記念式典	高森町		23日(水)～ 24日(木)	産業厚生常任委員会視察研修	大川市 佐賀市	
7月	20日(木)	正副議長、常任・議会運営委員長研修会	阿蘇市		25日(金)	町村新議員研修会	熊本市	
	21日(金)	優良子牛保留奨励品評会	高森町		29日(火)	熊本・阿蘇幹線道路整備促進期成会 通常総会	大津町	
	22日(土)	ワンピース列車出発式	南阿蘇村		30日(水)	公共施設あり方検討協議会	高森町	
	25日(火)	中九州・地域高規格道路促進期成会	竹田市		31日(木)～ 9月1日(金)	部落解放同盟高森支部研修	山口県	
	26日(水)	常任委員長・議会運営委員長研修	高森町		9月	2日(土)	みなみあそちくさんまつり	高森町
	31日(月)	阿蘇森林組合通常総代会	阿蘇市			3日(日)	高森町消防団標的倒し競技大会	高森町
8月	2日(水)	津留・柳線準備促進期成会総会	高森町			4日(月)	総務文教常任委員会	高森町
	5日(土)	東下田川第2砂防堰堤完成報告会	南阿蘇村			8日(金)	アグリセンター運営協議会	高森町
	6日(日)	阿蘇郡市人権同和教育研究大会	南阿蘇村					
	20日(日)	高森中学校剣道部優勝報告会	高森町					

令和5年度町村議会新議員研修会

期日：令和5年8月25日 会場：熊本県市町村自治会館

今年4月の町議選で初当選した5名が、県下12町村25名の新議員と共に、熊本県町村議会議長会主催の新議員研修会に出席した。議長会の古家事務局長から、「議会の制度と運営」をテーマに研修が行われた。定例会や臨時会、議案の審議や発言など、議員として活動するうえで必要な、最も基礎的研修内容で、既に数回の議会を経験した私たちは、再確認をする良い機会となった。

(文責：佐藤 武文)



編集後記

朝晩寒くなり、草木がだんだんと色づいて、秋らしい季節になってまいりました。いかがお過ごしでしょうか。

いつも、議会だより「絆」をお読みいただきありがとうございます。

議会だよりを通じて、議員の活動状況などをお伝えし、皆様の疑問などに対応していきたいと思えます。

これからも、よろしくお願いいたします。

児玉 幸之助

議会広報特別委員会

議長 牛嶋津世志 (発行責任者)

委員長 後藤 巖 委員 白石 豊和

副委員長 児玉幸之助 委員 武田 栄喜

